

◆鳥取県西部中小企業青年中央会 会長 三輪龍介 ◆編集責任者/担当 副会長 高塚康治 ◆制作・編集 第43期総務・広報委員会/委員長 木嶋康之

第3回大山お地蔵さまフェスティバル開催

5月13日(日)大山寺参道付近にて予定されていた「第3回大山お地蔵さまフェスティバル」は一般参加者へのご案内を中止し、内容を一部変更して行われた。当日の天候を信じ、直前まで通常開催を目指していたが、当日朝の豪雨・暴風の影響を受け、来場者の安全を第一に考慮したためである。それに伴い、会場を大山寺参道周辺から大山総合体育館に移し、5月例会が始まった。

43期の記憶と記録の残る事業へ

冒頭、三輪会長より「本日はあいにくの天気となってしまったが、みごと短時間でしっかりと準備ができたところはさすが中央会。当初の内容とは大幅に変わるものの、地域交流委員会のみなさん中心に今日のために準備してきてくれた。みなさんに参加していただき、これもひとつの43期の記憶・記録に残る事業としていただきたい」との挨拶があった。



次に新入会員2名に対しバッジ・手帳授与があり、「やるからには中途半端ではなく、一生懸命やりたい」(徳中太慈会員)、「何かとご迷惑をおかけするかもわかりませんがご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願ひいたします」(明徳真一会員)と力強い決意表明を述べられた。

子供たちの笑顔と共に

続いて第3回お地蔵さまプロジェクト実行委員会堀尾委員長より、本日の予定ならびに急遽会場・内容変更の経緯について説明があった。また「これまで関係各所・保育所等への案内や、各メディアを通して当会の活動・想いをしっかりと宣伝できた。継続事業として来期につながるよう引き継いで残していきたい」「西部地域の保育所・

幼稚園から800近い絵を提供いただき、参道に掲示している。素晴らしい絵が集まっているので、別日・別会場にて表彰式等も含め検討している」との説明があった。

その後、参加者全員で写真撮影を実施。当会のマスコットキャラクター『にこっとさま』も一緒に写真におさまるなど、温かな雰囲気です。第3回大山お地蔵さまフェスティバルは開幕となった。



体育館の中では、にぎわい縁日として生産性向上委員会の「型抜き」、人財・組織活性化委員会の「わなげ」、政治行政委員会の「射的」、総務・広報委員会の「スーパーボールすくい」、加えて「お地蔵さま人形」の手作り体験が行われた。レトロなゲームのひとつひとつに一喜一憂する、まさに温故知新一幕を垣間見る瞬間であり、会員のご家族・子供たちが楽しむ笑顔が溢れ、このお地蔵さまプロジェクトの想いを集約した光景がそこにはあった。温かいそばやおにぎりも振舞われ、春にしては少し小寒い日ではあったものの、寄り添いほおぼるみなさんの笑顔が溢れていた。

次年度へ向け

最後、例会の締め括りとして堀尾実行委員長より「お地蔵さま清掃ができていない。後日、地域交流委員会中心にやりたい。また会員には連絡する」旨の連絡があった。続いて秋里副会長より「本来の目的であったお地蔵さま清掃はできなかったが、縁日での会員のご家族・子供たちの一所懸命な顔・楽しんでる顔を見ることができ、これが次年度につながっていくと感じた。子供の笑顔を大事にするイベントとして続けていきたい」とのお話があり、第3回大山お地蔵さまフェスティバルは閉会となった。



終始天候に悩まされる一日ではあったものの、館内は熱気で溢れ、会員のご家族・子供たちをはじめ全員の優しい笑顔で満たされる一日であった。なにより、次年度以降も地域との絆をしっかりと結び、後世に繋がる伝統の糸を絶やさぬよう、継続事業としてお地蔵さまプロジェクトを、さらに広めていきたいと感じる素晴らしい日となった。

(記事:一原)

第3回大山お地蔵さまフェスティバルを終えて

第3回お地蔵さまプロジェクト実行委員長 堀尾一仁
(株堀尾建築設計事務所 専務取締役)



今期が始まった7月より1年間、お地蔵さまプロジェクトとして活動をしてまいりました。我々の活動を皆様に知っていただき興味を持ってもらうこと。そして、フェスティバルにたくさんの参加者を迎え、皆で感謝の気持ちと共に「お地蔵さま」を磨くこと。我らのふるさとにある魅力を感じてもらうこと。笑顔あふれるイベントとなること。さまざまな想いと共に、あつという間の1年でした。共に活動し、サポートしてくれた地域交流委員会メンバーには、感謝の気持ちでいっぱいです。また、3度の実行委員会をさせて頂き、会員皆様から多くの意見・知恵をいただき、ここまで準備を進めていくことができました。ありがとうございました。

フェスティバルは、残念ながら悪天候のため中止となりました。しかし、1年間を通して我々のプロジェクトを周知できたこと、会員皆で一つの目標に向かって準備できたことは、継続事業として来期につながる活動ができたのではないかと感じております。

フェスティバル開催にあたり、関係各所さまさまざまな方々に多大なるご協力をいただきましたこと、大変感謝いたしております。本当にありがとうございました!!!

お地蔵さまマスコット愛称決定

第3回お地蔵さまプロジェクト実行委員長 堀尾 一仁

鳥取県西部中小企業青年中央会の活動をPRするため、また、『お地蔵さまプロジェクト』を盛り上げるため、当会のマスコットとしてお地蔵さまの着ぐるみを作成いたしました。このマスコットが、皆様に愛され、親しまれるキャラクターとなるよう愛称の募集をしましたところ、多くの方より素晴らしい愛称のご応募をいただきました。厳正なる選考の結果、マスコットの表情と、お地蔵さまプロジェクトの『子供たちに笑顔を』の想いにふさわしい以下の愛称にて決定いたしました。

鳥取県西部中小企業青年中央会 マスコット愛称
『にこっとさま』



我々の活動を通して、地域に笑顔があふれるような、そのような活動を『にこっとさま』と共に進めていこうと思います。『にこっとさま』をどうぞよろしくお願いいたします!!!

お地蔵さまフェスティバル 事前準備・前日作業

地域交流委員会 副委員長 仲佐 大志(榊トレンド)

我々地域交流委員会は、応援会員の皆様にもお手伝いいただきながら、5月13日の「第3回大山お地蔵さまフェスティバル」に向けて準備を進めて来ました。事前準備では、フェスティバルの内容が決まった後、Aグループではチラシ・ポスターの作成、メディアや保育園等の広報活動、Bグループではフェスティバルの核となるお地蔵さま清掃のやり方を何度も見直し、また作品展の準備を応援



会員の皆様にも手伝っていただき、そして創作会のキーホルダーを試行錯誤しながら準備を進めて来ました。Cグループではクイズラリーのクイズ内容を大山寺参道に構えて居られる店舗の方と一緒に考え、またステージ発表会では演者の方との交渉を当日まで何度も行いました。そしてDグループでは大山流しそばの準備として、竹取り・竹割り・節取り・竹洗いと早い段階から動き出して準備を進めてきました。フェスティバルの前日は会場の準備、リハーサルをしながら動きの確認等最終の



詰めをして、大山館に宿泊しました。当日残念ながらフェスティバルは中止となってしまいました。が、来期に向けて残せるものをしっかりと引き継ぐようにしたいと思います。皆様、ご協力いただきありがとうございました。

新入会員の見たお地蔵さまフェスティバル



金子 賢之 (Lotus 代表取締役社長)

今期9月より中央会に入会し地域交流委員会に配属させていただきました。

一番最初の活動で参道に上がり実際にお地蔵さまに触れる所から自身の『お地蔵さまフェスティバル』の活動がスタートしました。

当時は「来年の5月まで長いなあ」と感じていましたが終えてみれば本当にあっという間で、委員会やグループ会、全てが貴重な経験となりました。私は清掃スタンパラーを担当させて頂きましたが、入会したばかりで何もわからない中、周りの仲間へ多くの助けを頂きながら当日を迎えることができました。特に今期ご卒会の田中猛先輩には相談にのって頂く事が多く、猛先輩がいなければ何もできなかったの感謝しかありません。

お地蔵さまフェスティバルを通し、地元のありがたみを再確認できた事はもちろんですが、中央会での“いち会員の在り方。”先輩、リーダーのあべき姿。を学べました。

これからの中央会活動に活かし、成長していこうと思います。



下村 英一 (山陰建設サービス 営業部 係長)

昨年の12月に入会してから約6ヶ月。流しそば・縁日担当として流しそばの竹を割ったり保育園にPRに行ったりと活動してきました。

このような活動は初めてなので何をどうすればいいのか分からず戸惑いと不安がありました。PRのため保育園にチラシ配りに行った際、『にこっとさま』に扮したのですが、園児たちが「かわいい!」と言って駆け寄って来てくれたのは嬉しい気持ちになりました。

そして迎えた初めてのお地蔵さまフェスティバルはあいにくの雨で大幅に変更となり、自分の担当である流しそばも出来ませんでした。

委員会の今までの準備と苦勞を考えると正直残念な気持ちが残りましたが、これもお地蔵さまフェスティバルを継続させていく為の一つの経験として積み重ねていかなければならないと思いました。そしてこのお地蔵さまフェスティバルを通して地域社会の活性や子供たちの成長に携われることをとても誇らしく思います。

来年こそは晴れますように!!

6月例会に向けて



6月例会は例年広報系の委員会が担当しておりましたが、今年度は初の試みとして、卒会予定者と新入会員が担当することとなりました。

43期を締めくくる6月例会は、各委員長がどういう計画を立て、この1年間どんな委員会活動をしてきたのかを魂を込めて発表する場です。また、次年度会長が全会員に対して第44期の方針を発表し、一致団結して次の年度に向けて歩いていくための決意表明の場でもあります。

企画・運営する我々はその舞台を会員が一致団結する素晴らしいものにするために、この数ヶ月取り組んできました。今年度を最後に卒会する7名は現役最後の例会で大役を仰せつかり緊張しておりますが、同じく担当する新入会員に何かしら伝えること出来たら...という思いと共にこの例会を成功に導きたいと思っております。

何卒全員出席くださいますようお願い致します!!

6月例会 リーダー 辻 拓哉

(昭和ウインドウ 代表取締役)

第38回 全日本トライアスロン皆生大会 各部長意気込み

A S部長 本田 繁 (東京印刷株 営業)



第38回全日本トライアスロン皆生大会でA S部長を務めさせていただきます本田です。素晴らしい大会のA S部長を拝命したことを誇りに思います。

鉄人たちがひたむきにゴールを目指す姿は私たちに感動を与えてくれます。頑張っている選手へ少しでもお手伝い出来るようにA S部では全力でサポートをし、競技に全力を出し切って頂きたいと思えます。声援を送り一緒に汗を流すボランティアと選手が出会い、その縁が大会の歴史とともに紡がれている皆生大会だと思います。

中央会会員の減少に伴い運営は大変ですが、各個人責任を持ち「ALL中央会」で協力しながら活動に取り組んでまいります。大会当日まで約2ヶ月切りました。一生懸命頑張ります。皆様ご協力の程宜しくお願い致します。

ボランティア部長 田中 猛 (田中正夫建築設計事務所 米子事務所長)



ボランティア部では個人や企業・学校などの団体から数千人のボランティアさんを集め、各A Sやポイントなどに人員を配置する作業をします。私自身は2月より部内の入選・スケジュール組みなどで動き出し、4月より各部部长が参加する競技委員会やボラ部会、各説明会へと出席していき、部内をまとめていくことが主な業務となります。

私自身まだまだ経験が浅いなか、不安な部分をベテラン部員やOB部員にアドバイス頂き、部員に助けてもらいながら、また今までに築き上げられた膨大な資料を参考に、一歩ずつ進めています。

ただ願わくば今大会を無事終えることはもちろん、先人がそうしてきたように、次年度以降、より楽に、より楽しくこの活動が部員に感ずられるよう改善できるところは改善し、しっかりバトンを繋げていきたいという気持ちで向かっています。何はともあれ本番までご苦労をおかけしますが、皆さまどうぞ宜しくお願い致します！！

マラソン部長 田中 健雄 (司法書士法人 田中事務所 代表社員)



第38回全日本トライアスロン皆生大会のマラソン部長を拝命致しました田中健雄です。

皆生大会は日本トライアスロンの聖地と言われる伝統のある大会。参加される選手は、昨年のリベンジを果たしたい方、自己ベスト更新を狙う方、初参加できた方、様々な想いをもって皆生に集います。そんな中で中央会のトライアスロン活動の果たす役割は非常に大きいです。またマラソン部の事業は、会員皆様のお力添えがあって成立する事業でもあり、高塚実行委員長を中心に田中猛ボランティア部長、本田A S部長との協力体制で取り組む所存ですので、今年もご協力をよろしく宜しくお願い致します！マラソン部の伝統である、「やるときはやる。楽しむときは楽しむ」をテーマに、メリハリをつけて活動をしてまいります。大会が無事に終了するまで、全員で力をあわせて頑張りましょう！

トライアスロンに向けて事前作業

5月19日(土)第38回全日本トライアスロン皆生大会に向けて田中健雄マラソン部長の陣頭指揮のもと、マラソン部を中心に他部の応援会員にも参加いただきポスター貼り看板チェック作業を行いました。ポスター貼りは7月15日(日)に開催される大会の機運を盛り上げるためと、大会の周知に一翼を担うために米子~境港間のマラソンコース沿道の店舗や企業にお願いし各所でポスターを掲示させていただきました。

看板チェック作業では7月7日(土)に行う看板立て作業に向けて看板の数や状態の確認を行いました。看板はコース上の安全面を確保する役割を果たしますので、このチェック作業は非常に重要です。今後もボランティア部・マラソン部・エイドステーション部のそれぞれ活動がありますが第38回全日本トライアスロン皆生大会の成功と安全を願ってALL中央会で活動していきましょう！

(記事:渡邊)



新入会員オリエンテーション開催

平成30年5月17日(木)米子市公会堂にて新入会員オリエンテーション(担当:人財・組織活性化委員会)が開催された。

冒頭に三輪会長の挨拶があり、当オリエンテーションの意義ならびに受講における心構えについてお話しいた。その後、奥森専務理事より今年度スローガンならびにテーマ、年間活動指針について、そして人財・組織活性化委員会メンバーを中心に当会の成り立ち、また取り巻く環境や各事業について順次説明があった。

最後に松井副会長からの総評にて会を締めくくった。

その後の懇親会では、入会時から現在に至るまでの自身の意識の変化について各諸先輩方から貴重なお話を伺え、温かくも心熱くなる叱咤激励の言葉をいただき、新入会員においては自身の再成長への最高のキックオフとなった。

(記事:一原)



Motto 教えて

浜浦 敬昌 (株)さんれいフーズ 課長)

みなさん「さんれいフーズ」といえば街中で保冷車を見かける冷凍食品の卸問屋というイメージをお持ちかと思えます。まさにその通りで、街のラーメン屋さんや喫茶店、病院、学校給食に居酒屋さん、ホテル旅館の宿泊施設にゴルフ場、そして量販店と「食」にまつわる全てのお客様に約2万アイテムの商品をお届けしています。

しかし私はこの「問屋」部門ではなく、「メーカー」部門に入社以来所属しており、「さんれいフーズ」ブランドの商品を全国に販売することを使命としています。得意とするのは「蟹(ズワイガニ、紅ズワイガニ)」と「クリームコロッケ」。主に業務用製品のため、皆さんが店頭で

「さんれいフーズ」の名前を見る事は少ないかと思いますが、実は米子にもある回転寿司チェーンの蟹や蟹味噌は弊社の商品なのです。

2001年に入社後、4年間は安来営業所で九州地区を担当。時には電車。時には車で九州地区を隔週で回っていました。その後2005年からは東京営業所へ転勤。ここでは8年間、関東と中京、甲信越をエリアに営業。ここでも出張が多く、年間の半分近くは出張という生活を送ってきました。2013年に本社へ戻り、今度は海外担当へ。海外の蟹(特に韓国紅ズワイガニ)の仕入れと販売を行っています。そして現在取り組んでいるのが海外販売です。語学は日本語しか得意としませんが・・・相変わらず出張の多い生活が続いています。

しかしこの仕事のおかげで様々な国や地域、多くの人と接する事が出来ました。中央会もその一つです。出会いに無駄はありません。少しでも多くの人、場所、モノに触れて成長していきたいと思えます。

今後とも宜しくお願い致します。

響け中央会

第43期会長 三輪龍介

第43期のこの連載もいよいよ最後となりました。これまで書かせてもらったことを読み返すと、この連載は実は私自身が一番実践しないといけないことを、自分に言い聞かせるように書いていたように思います。

青年中央会の会長として行なった私の発言や行動で、皆さんにとってほんの僅かでも響くものがあったのならよいのですが、私にとっては今期の四役や委員長をはじめとする会員みんなの一生懸命に活動してもらっている姿そのものが、これまでに経験したことないくらい心に響くものでした。

43期は間もなく終わりますが、この先も一人一人の真摯な行動で共に響かせ合いながら、青年中央会の活動を盛り上げて、次へ繋げていきましょう。1年間本当にありがとうございました！

中央会交響曲

県出向監事 上田 康文

影響を受けたものといえば、学生時代はダウンタウンの松本人志、ブルーハーツの甲本ヒロトですね。ほとんど憧れのようなものですが、思春期の未完成の心に大きな道筋を作ってもらいました。なかなか学生時代のように多くの影響を受けることも大人になって無いだろうと思っていましたが、中央会に入会させていただき、その考えは入会と同時に消えました。

会のあり方、仕事に対しての向かい方、物事の進め方、そして入会して10年になりますが中央会で出会った先輩、同期、後輩とすべての世代から数多くの影響を受けました。

中央会に入会して様々な影響を与えていただき、多くの人に出会えた事に感謝しています。難しい事ですが私自身が影響を与えられるよう、卒会まで残り1年と数か月ですがやっつけていこうと思います。



燃えよ龍 我が社の経営力

村田 博 (村田家(株) 代表取締役)

「お客様になった気持ちで動く！」

これが私の経営力です。

改めて、こんにちは！第39期入会、村田家株式会社村田です。当会に入会させて頂いて、早5年。アッ！！という間に月日が経ちました。最近では、手帳の写真を見られた他の会員さんが、「写真とは違いますね…。」ここはポジティブにとらえましょう。

私どもが携わっています業務内容は、主に建築・建設物を造ったり、

壊したりしています。造る事と壊す事を兼ね合わせる事は、業者が集約され、お客様も打合せが少なく済むというメリットがあります。また、業務に携わるスタッフの皆さんも、建築物の構造がわかるというメリットも生まれます。それとは反対に、「一つの仕事を一本気に続けて行くやり方」それもまた、仕事の流儀だと思えます。私は、前者の手法で、起業して15年が経ちました。今までも色々ありましたが、これからの方がより長く、もっと様々な事が待ち受けていることでしょう。時代の変化は激しいですが、常に、良い意味でその時代に合わせた会社づくりが重要だと感じています。

それから、自分自身がお客様の立場になれば、「ここをあ〜して欲しい…、あそこが汚れているから掃除して欲しい…」など、気づきが生まれます。お客様が色々な考えで思いつかれるからこそ、私どもの仕事が生れます。その楽しい夢づくりのお手伝いを少しでもさせて頂くという思いで社員一丸となり精進して参ります。

最後に私の『気持ちの整理の仕方』を知って頂きたいと思えます。誰も、仕事をやる上で、様々な壁にぶち当たる事があると思えます。そのような場合に私は、トイレ掃除とお墓参りをします(いつもしてないわけではないわけではありませぬ)。それを行う事で、自然に心が落ち着くのです。

皆様にも、様々な『気持ちの整理の仕方』があると思いますが、上手に活用しながら社業に取り組んで参りましょう！



(地域交流委員会)



徳中 太慈

大連 飲食業 店長
〒683-0043 米子市末広町149
TEL 22-4895 FAX 22-4895

H30.05 (H29年) 入会
(推薦者) 竹ノ内(賢)
松田(幸)

〈コメント〉5月より入会させて頂いた徳中太慈です。中央会の活動を通して自己研鑽に励み人として経営者として成長出来るように頑張りたいと思います。45歳までの中央会活動、全力で取り組みたいと思います。

(生産性向上委員会)



柏木 克仁

保育成 専務取締役
認可保育事業
〒684-0066 境港市芝町494-1
TEL 44-1958 FAX 44-1960

H30.05 (H29年) 入会
(推薦者) 山口(尚)
奥森(秀)

〈コメント〉5月に入会させて頂きました(保育成の)柏木です。子どもの最善の利益のために保育を実践している中で、中央会の皆様と意見交換を通じて自己の学びを深め自園の保育に生かして地域へ貢献できるようなっておりますので、宜しくお願いいたします。

(生産性向上委員会)



明穂 真一

境港海上無線機 専務取締役
建設業 電気工事・船舶機器販売保守
〒684-0006 境港市栄町17
TEL 42-2449 FAX 44-3775

H30.05 (H29年) 入会
(推薦者) 山口(尚)
奥森(秀)

〈コメント〉この度新規入会させて頂きました、境港海上無線機(株)の明穂と申します。40歳での入会ということで、5年間という短い期間ではございますが、委員会活動など全力で参加させて頂きたいと思っております。何卒、宜しくお願いいたします。

6月役員会報告

平成30年6月1日(金)米子市公会堂集会所1にて開催されました。

当日の主な内容は以下のとおりです。

- ・第3回お地蔵さまプロジェクト開催報告の件
 - ・6月例会開催の件
 - ・総会・卒会式、懇親会開催の件
- 詳細については各委員長にご確認ください。

6月例会案内

と き：平成30年6月15日(金) 18：45～20：45

と ころ：ふれあいの里 大会議室

内 容：第43期 委員会報告

第44期 年度方針発表

担 当：第43期 卒会予定者・新入会員(第42期 6月以降)

編集後記

皆さま、お地蔵さまフェスティバルお疲れ様でした。1年間通して準備してきただけに、天候に恵まれず残念です。来年度に熱い思いをプラスして継続事業として発展していきたいです。そして、残りわずか今年度事業とトライアスロン大会に力を注いでいこうと思います。

(総務・広報委員会 金山 勝)

〈新入会員〉